中学生の部　優秀賞作品

東部中学校２年Ｃ組　　片岡　彩佳

「考えるまち　北広島」

私は将来北広島市で働こうと思っています。そこで重要なのは「住みよいまちづくり」だと私は思います。

まず、私はこの先北広島にいるのであれば、今の自然豊かな北広島がいいです。確かに住みよいまち、と聞くと大都市など「ハイテク」が進んだまちだと思われます。ですが、いくら使いやすいまちであっても人の心にゆとりを持たせないまちは、市民のためにあるとは言えません。ある一例ですが、東京の人は北海道に来ると「いやされる」、「心にゆとりができる」といいます。それは東京の人がどれほど自然と関わっていないかを示しているのです。

もし、未来の北広島が緑のない、灰色のコンクリートのまちになってしまったらと思うと耐えられません。人は昔から自然と共存してきたのです。今の北広島には豊かな緑の自然があります。なので私は、この緑のある北広島を守っていくべきだと思います。

次に、北広島は「安全なまち」になることが必要だと思います。今、北広島の道路には安全を呼びかける看板が立っています。これはとてもよい傾向であると思います。しかし、時々私はもっと信号機を増やしてほしいと思うときがあります。北広島にはたくさんの細い道があります。ですが、その細い道のほとんどには信号機がありません。その中では車の通りや子供の通学路が多いところもあります。もし、その場所をそのままにしていたら、将来車と人の交通事故が起こるかもしれません。車の人に悪気はなかったとしても、もしその歩行者が死んでしまったりしたら、その人は罪を犯したことになってしまいます。そのようなことを防ぐには、前々からのしっかりとした対策が必要です。

私が今回書いたことはほんの一部に過ぎません。ですが、私たち市民にもこのようなことが大きく関係しています。未来の北広島には、もしかすると我々北広市民の考えや行動が一番大切なのかもしれません。